

令和 7 年 2 月 12 日

令和 6 年度第 11 回理事会議事録

日 時：令和 7 年 2 月 12 日（水）18 時 30 分～19 時 45 分

会 場：オンライン会議室（ZOOM 使用）

出席者：中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、本田理事、中野理事、工藤理事、鈴木理事、都留理事、實光理事、千葉監事、黒田監事、神尾監事、安積局長、田箆局長、辻岡局長、早瀬局長、総務部藤原

書 記：藤原

令和 6 年度第 11 回理事会議題

（1）承認事項

ア 令和 6 年度第 10 回理事会議事録

資料参照の上、承認された。

（2）報告事項

ア 各局事業進捗報告

早瀬局長（事務局）より、総務部、財務部の進捗状況について資料に基づいて報告があった。総務部は公文書発行が 9 件、委嘱状 7 件、報告 2 件。財務部は 4-12 月オンライン会議費の取りまとめ、次年度予算案の修正、各部の財務管理を行った。千葉監事より新年互礼会に関する事業（事業番号：510）の進捗状況については指摘があり、既に事業は完了したため 0→100%に修正する。

安積局長（情報管理局）より、情報管理局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。SM 部はセンターホームページの管理運営を行い、研修会・学会の広報、センター主催研修会の広報を実施した。ニュース編集部は府士会ニュース 308 号の取りまとめ、センター独自のニュースの発行、2 月センター主催研修会情報のプッシュ通知の実施、センター独自ニュース記事の編集等発行に向けた準備を行った。SE 部は賛助会員 HP を作成した。井阪副理事長より、センター独自のニュースが HP 上で探しにくいとの意見があり、HP 上の掲載場所について検討する。

田箆局長（生涯学習局）より、生涯学習局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。研修事業は 1 月分のセンター主催研修会開催、2025 年度 4 月分のセミナー登録、3 士会合同研修会開催準備、2025 年度センター主催研修会の開催準備（講師内諾、日程調整）を行った。研修集会は、第 7 回生涯学習研修会の講師・日程について対面・WEB ともに決定し、それらに伴うポイント申請書類の作成準備中である。理学療法士講習会は、2024 年度下半期 8 件中 6 件の講習会が終了し、アンケート結果の報告まで終了してる。また、2025 年度上半期理学療法講習会のセミナー登録が進行中である。認定カリキュラムは、次年度開催・新規開催領域に向けた準備を行った。学術誌編集部は「総合理学療法学」について論文査読・審査・修正中が 5 件、論文受理が 2 件である。中川理事長より、賛助企業の優待要件である、年 1 回の研修会に関する担当部署の配置について質問があった。これについては、企業との窓口は本田理事（事務局）とし、日程調整等の調整は生涯学習局が行う。工藤理事（生涯学習局）より、ナイトセミナーが大体週 1 回のペースであるため、下半期の予定を組む前に賛助企業主催研修会の日程調整が出来れば予定を組みやすいとの発言があった。また、都留理事（教育局）からも大阪学会付近（7/6）で下半期の日程を決めたいとの話があった。

辻岡局長（教育局）より教育局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。学術

大会部は第 37 回大会の演題登録を開始、メールのやり取りについて補助、授賞式の準備を行い、第 38 回大会の準備委員の立ち上げ補助を行った。北支部から 1 名部員を補充している。臨床実習教育部は、1/25-26 に臨床実習指導者講習会、2/15 に Master 講習会、実習前 OSCE に関する会議をそれぞれ開催した。研修理学療法教育部は、全支部で新人症例発表会の抄録が公開され、中支部は 1/26 に実施した。東支部は当日受付、南支部・北支部は参加の申込み受付中である。後期研修では、第 5 回「主催」症例検討会（E 項目）の聴講申込み開始、C 項目の第 11-13 回が開催され、第 14 回の申込みが開始された。次年度の講師バンクについて、申込みを開始し、新人ガイダンス・養成校卒前ガイダンス資料作成を行った。また、部員 1 名の退任があり、新任の調整中である。

イ R7 年度新卒者理学療法説明会開催について

本田理事より、資料の通り報告があった。時間配分・内容については、府士会事務局と協議を行ったうえで、今年は昨年度の早退者数の状況を考慮し午前中で終了する予定である。当日のタイムスケジュールについて共有され、質問は特に無かった。射場副理事長より、改めてセンター研修会案内の時間でスキルアップセミナーについて説明する

ウ 賛助企業との懇談会について

本田理事より、資料の通り報告があった。3/14 に開催される賛助企業との懇談会についての詳細が報告された。中川理事長より酒井医療から参加のメールがあったのではないかと指摘あり。理事会後に確認が行われ、ミナト医科学様が欠席、酒井医療様（2 名）が出席で連絡があったことを確認した。合計参加人数については変わりなし。

エ 令和 7 年度・8 年度の役員選挙の結果について

本田理事より、資料の通り報告があった。選挙の結果、理事・監事いずれも立候補者数が定数内であったため、無投票当選となる。井阪副理事長より、定数 9 名に対して理事候補 8 名であるため、次月 3 月理事会にて推薦者を募り、4 月理事会にて承認を得、6 月定時総会に諮る予定であることが補足説明された。

(3) 審議事項

ア （一社）日本リハビリテーション臨床教育研究会との契約更新について

都留理事より、資料に沿って説明があった。現行契約の終了に伴い、契約更新と契約内容の一部改定を行う。両団体のどちらかが契約解除の意向を示さない限り、自動的に次の 2 年間で更新される。という文言が追加された。鈴木理事より、今後の展望について質問があり、現時点でマスターコース修了者は約 30 名である。将来的には大阪府の中で講師役を担っていきたいと考えているが、現時点では難しいと都留理事より説明があった。また、本契約は、4 月更新であるため、契約文書内の事務所所在地は新事務所所在地に修正する。本議案は、承認された。

イ 研修理学療法教育部の部員交代について

都留理事より、資料に沿って説明があった。研修理学療法教育部の支部部員の退任希望があり、交代部員を探した。新任候補部員には内諾済みである。本議案は、承認された。

ウ 謝金支給規程(案)について

本田理事より、資料に沿って説明があった。令和 7 年度より役員及び部員に対し、会議・イベント等に係る謝金支給規程について審議が行われた。デスクワークが主となる事業に係わる部員にも謝金支給が可能となるように、府士会とは一部異なる条件がある。本議案は、承認された。

エ 役員等への手当に関する規程の改廃について

本田理事より、資料に沿って説明がされた。謝金支給規程の施行に伴い、現行の「役員等への手当に関する規程」は令和 7 年 3 月 31 日付けで改廃することについて審議が行われた。中川理事長より、あくまで謝金であるという事を担当理事から部長・部員へと説明するよう発言があった。射場副理事長より都留理事に、学会の準備委員に対しても、謝金について説明を行うよう発言があった。辻岡局長より、学会当日運営について再募集をかける（現在約

50 名程度) という話であるが、募集要項に謝金の情報を掲載しても良いか質問があった。謝金規程は承認されたため掲載は可能であるが、前日準備分は出ない。都留理事より学術大会部に伝達する。本議案は、承認された。

オ 学術賞選考委員会に関する内規(案)について

鈴木理事より、資料に沿って説明がされた。

「表彰候補者推薦委員会に関する内規」を学術賞選考に関する内規に改定し、名称を「学術賞選考委員会に関する内規」とすることについて審議された。名称の改定については、特に異論はなかった。主に第4条について改定が行われ、委員長は選考作業を行わず、委員からの決定事項を確認し、選考理由を添えて理事会に承認申請を行なうことになった。射場副理事長より大阪学会の優秀演題賞についてどうするか質問があった。学術賞は論文からの選考であり、優秀演題賞は大阪学会発表演題からということは今後考えている。今年度は総合理学療法に大阪府から8本の論文があった、去年は0本であったため、もう少し協議する必要がある。本田理事より、同じ職場や共著に入っていた場合などどうするのか質問があった。今後、他団体を参考にしながら規則を決めていく。本議案は、承認された。

カ 学術賞選考(案)について

鈴木理事より、資料に沿って説明がされた。学術賞選考委員会で検討の結果、学術賞及び学術奨励賞の選考を行ったため、選考理由なども含めて説明があった。射場副理事長より、12月理事会で承認された、大阪学会での優秀演題賞の中で1番優秀であった(関西医科大学 中野治郎先生の論文)が学術奨励賞に含まれていないとの指摘があった。学術奨励賞を2本にし、合計9本の表彰準備を進める。中川理事長より、選考過程において著者や所属をブラインドした方が良いのではないかと意見があった。本議案は、承認された。

4 その他

ア 新事務所移転について

本田理事より、新事務所への移転日は2025年3月3日に決定したことが報告された。次月の理事会は新事務所に対面にて執り行う予定である。

以上